



今月の聖句 『わたしの父は今もなお働いておられる。だから、わたしも働くのだ。』

ヨハネによる福音書 第5章 17節

会 長	山口 雅也
副会長	香山 章治
	内田 雅彦
書 記	瀬本 純夫
	西川 欽一
会 計	西村 融正

クラブ主題

熱く交わそう！ ワイズの友情 —キャピタル30周年に向かって—

- 国際主題: IP Philip Mathai (インド) "Be the light of the world" 「世を照らす光となろう」
- アジア主題: AP Oliver Wu (台湾) "Years bring wisdom" 「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」
- 西日本区主題: RD 成瀬晃三 (名古屋) "Let Y'smen Light Shine before Others in the club, in the community, in the world" 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」
- 京都部主題: DG 船木順司 (京都トッパス) 「出会い」「ふれあい」「磨きあい」
- メネット主題: RSD 野村靖子 (名古屋東海) 「愛と奉仕の継続を」 ~メネットのやさしさを奉仕のすみずみまで~

熱く交わそう！ ワイズの友情 —キャピタル30周年に向かって—

第30代会長 山口 雅也



今期の主題を『熱く交わそう！ワイズの友情』—キャピタル30周年に向かって—と掲げさせていただきました。近年のキャピタルクラブを振りかえると、着実にメンバーを増やし、一昨年は西日本区大会をホストするなど、メンバー間の調和も取れた、とてもいいクラブの状態で、むしろ問題もなく、特に今必要とされて

いる課題や目標を掲げなくても現状を保てばよいのではないかと。しかし、「現状を維持することは実は難しいことである」ということはご承知の通りで、何か課題や目標を掲げたり、検証、チェックを怠ると、思わぬところで足元をすくわれる可能性があると思います。

『現状に甘んずることなく、熱く一生懸命になれるクラブを目指し、それぞれの仕事、家庭、地域が活性するようリーダーとなりましょう』—なにもクラブに参加している時だけがワイズメンではないと思います。我々が生活しているその場面、場面においてリーダーシップを発揮していくことを学ぶ場所が、このキャピタルクラブなのだと感じます。そのキャピタルクラブの中で知り合った仲間同士が、かけがえのない「ワイズの友情」を熱く交わしていくことで次期30周年に向かってメンバーの皆さんと楽しく盛り上がり得るようなクラブ作りをやっていきたく考えています。

もう一点、YMCA とのかかわりの中では、従来の行事に加え、「Yの若者」として、リーダー達との交流に取り組んで参ります。YMCAの一翼を担う彼らとの交流はクラブやメンバーにとって、またリーダーの皆さんにとっても、何かの気付きになると思います。

最後になりましたが、今期の取り組みも、皆様のご理解とご協力をいただければ進んでいくことと思います。毎月の例会はもとより、委員会活動を大切に、一つ一つを積み重ねながら、一生懸命頑張ってます。一年間、どうぞ宜しくお願いいたします。

聖句の解説 イエスは、ひとりの人を癒されたことについて、人びとから非難されました。人間社会とは不思議なもので、少し良いことをすると誉められますが、もっと良いことをすると人から非難され、さらに良いことをすると殺されてしまいます。イエス・キリストだけではありません。ソクラテスもアテネの人びとのために真理を語りましたが、それが人を惑わすものとして、裁判で死刑判決を受け、自ら毒杯をあおいで死にました。

私たちが、人から誉められ、評価されるために良いことをしている限り、その善行は低いレベルのものに終わります。「一日一善」もよいでしょう。お年寄りのために席を譲ることもよいでしょう。それさえも出来ない私たちの社会にあって、善行を勧め、マナーを教育することも教会の大きな任務です。

しかし、聖書はその次のレベルのことについても教えています。それは、人に喜ばれるのではなく、神に喜ばれる行いをすることです。人から嫌われ、憎まれても、なすべきことを行なう信仰です。このレベルになって初めて、私たちは「イエスの弟子」となるのです。

西日本区 強調月間

7月 Kick-off EMC-C

MCのCはCoservation。クラブ発展はクラブの健全な運営と維持・存続から。今一度、クラブが健全に運営されているかチェックしてみましょう！

米村健一 EMC 事業主任 (熊本むさしクラブ)

年間強調 目標PR

クラブ活動をブリテン・ホームページ・地域新聞などの様々な媒体を利用し、内外に幅広く活発な広報活動を行いましょう。
吉村秀喜広報事業主任(長浜クラブ)

6 月 報 告



例会出席

在籍者数	40名
第一例会	36名
第二例会	36名
メーキャップ	3名
出席率	97.5%



BFポイント

切手	0g
現金累計	55,829円
切手累計	7,214.50g
B F 献金	0円
J W F	0円
E F	0ドル



ニコニコ

第一例会	13,000円
第二例会	0円
累 計	242,500円
東日本大震災復興募金	
第一例会	2,725円
第二例会	0円
ココカラ様より	46,720円
累 計	101,546円



ファンド

累 計 1,006,422円



献 血

献 血	0cc
成 分	0名
累 計	400cc
成分累計	0名



125周年
募 金

第一例会	3,427円
第二例会	0円
今期累計	63,864円
累 計	533,730円

強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

6月第一例会 2012年6月5日(火) 19:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都

三人三様

森 常 夫

八木会長の挨拶で父の日について、6月第三日曜日にバラの花を贈る慣わしがアメリカで始まった話をしてくださり、私は初めてその由来を知りました。

今日は新入会員のスピーチ例会に志田育夫さん、山口 恵さん、松井陽子さんの三名が自分の仕事、生い立ち等ユーモアを交えて話されました。

志田育夫さんは税理士で業界の下京支部長をされておられます。学生時代大阪土佐堀YMCAでリーダー活動をされていた時、徳島にあるYMCAの阿南キャンプ場での活動の話として、湯ぞめをして体調を崩してはいけないというやさしさが邪魔をして、子供を4日間風呂に入れなかったエピソード等を聞かせてくださいました。

山口 恵さんは結婚相談所を経営され、幼少のころは大変おとなしくて砂場で怪我をしたことや、自転車で自動車に衝突して50mも転げ落ちたエピソード等一杯語られました。学生時代はバスケット部に入部、勉強より遊びの学生時代を送り、卒業後は大阪空港に勤務する仕事を通して、周りに感謝することを学びましたと締めくくられました。

松井陽子さんは、民主党の府議会議員で、学生時代にオランダに留学し、自分の国を立て直そうと学びに来ていた同世代の若者に刺激を受けられました。帰国後は衆議院議員の下でインターンをし、政治の大切さを痛感。その後、京都において、福祉の現場で研修を重ね、今は、特に就職支援・自立支援に力を注いでおられます。

三名さんそれぞれ大きな志をもって学生時代、そして現在も活躍されておられることに感銘をうけました。



志田育夫さん



山口 恵さん



松井陽子さん



200%例会出席者(メークアップ含む)



区大会で受賞したアワード伝達

間ほどこかかって作成された“労いの言葉”が披露され、八木会長はもちろんメンバーもグッときておられたようでした。

「メネットを労う会にしたい」とおっしゃっていた八木会長から、美穂メネット会長へサプライズのプレゼントも用意され、傍らで茉耶ちゃん萌寧ちゃんが見守る微笑ましい引継例会となりました。



YMCAへの寄贈物品目録贈呈



パープル賞受賞のみなさん



いよいよ次期がスタート! 次期役員の皆さん

6月第二例会 2012年6月23日(土) 18:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都

2011~2012年度引継例会

五十嵐 由 紀

前半は“ホームクラブ200%達成表彰”や西日本区大会で受賞した各種“アワード”などが該当委員長に伝達され、また、在籍35年を迎えられた勝山さんには花束が贈られました。食事タイムには、スペシャルゲストに八木会長のお母様の裕美様と弟の孝典様(とお子様の要君)をお招きし、1年間を振り返る映像を見ながら、賑やかに過ごしました。



八木会長ご苦労様でした
山口次期会長へバトンタッチ(右)



パープル大賞の内田さん(右)

後半では、会長や委員長の引継式が行われ、旧年度から新年度へ激励の言葉が述べられました。ちなみに今年の“パープル大賞”は内田ドライバー委員長で「パープル大賞は取ろうと思ってもらえるものじゃない!」と実感を込めた喜びのご挨拶をされていました。

結びには、山田直前会長が6時

第15回西日本区大会

6月9日(土)~10日(日)

大会 滋賀県立文化産業会館
長浜文化芸術会館
懇親会 長浜ロイヤルホテル

次期会長 金原弘明

一年前と同じような雨模様の中……「あれから一年も経つのか……」ちょうど一年前、我がキャピタルクラブ皆の力で成功させた西日本区大会が懐かしく思い出される。

今年の西日本区大会は滋賀県湖北での開催である。1日目の式典の会場は米原駅近くの「文化産業交流会館」で行われた。役員会や代議員会等もこの会館で行われ、なかなか大きな施設であることに驚かされた。

午後1時、長浜の歴史を紹介するビデオが流れた後、メモリアルセレモニーが厳かに行われた。昨年とは異なるプログラム構成に今年の実行委員会のこだわりを感じた。メインステージからスモークがわき、懐かしの「威風堂々」が流れる。いよいよパナールセレモニーだ。昨年の西日本区大会では皆でこだわったプログラムの一つ。私はレクチャービデオの編集で、この「威風堂々」を何十回も繰り返し聞いたので、この曲を聴くだけで涙が出そうになる……

八木会長の登場に、メンバー全員で一段と大きな歓声と拍手でお迎えする。八木会長も満面の笑顔で応える。やはり、たくさんのメンバーで参加した方が楽しい。



式典が終わった後は、2日目も含めて会場を長浜の地に移して行われたが、この会場の移動も含めて実行委員会は大変な苦勞をされたことだろう。大会最後の実行委員長の謝辞においても、この大きな大会を敢えて米原・長浜の地で

行った拘りを熱く語られていた。

各事業の表彰においても我がクラブは最優秀クラブ賞こそ逃したものの、たくさんの表彰を受けることが出来た。

今年の大会のテーマは「人と人とのシンフォニー」。ワイズの人々の交流を交響曲のような調和と協調に例え、この湖北の地で育んでもらいたいとの思いがあったのであろう。この大会中も、たくさんの他クラブの方から笑顔でご挨拶を頂き、交流を持つことができた。これが西日本区大会の醍醐味の一つだろう。次々期に（7月では次期に）30周年という大きな事業を抱える我がクラブとしても、積極的に他クラブの周年例会や部会へ出て、交流を深めて行きたいと改めて思わせて頂いた良い大会だった。

実行委員会の皆様、大変お疲れ様でした。

参加者 石倉、岡本・メネット、勝山・メネット、金原、竹田、田中（雅）、田中（升）、仁科・メネット、村田、八木、柳・メネット、山口（弘）、山口（雅）、山田（隆）、山田（英）



メネットアワー

特別メネット 山口 弘 子

6月9日11時より、県立文化産業交流会館に於いて140名の出席で開会されました。今期の大澤メネット事業主任よりご挨拶と国際プロジェクトの事業報告がありました。続いて国内では東日本大震災で被災された方々や子供たちの支援のために派遣される、西日本地区YMCA ボランティアリーダーの活動費及び諸経費の支援があったことが報告されました。また、実際に復興支援に行かれたユースボランティア会長とYMCAリーダーによる体験発表がありました。

次に野村次期メネット事業主任より事業主題と方針、計画が発表されました。美味しいお弁当をいただきながら、久しぶりにお会いするメネットの方たちと楽しく談笑して終了しました。

受賞アワード

YMCA サービス・ユース事業 優秀賞 献金100%達成賞	トリプル達成賞
地域奉仕・環境事業 CSクラブ賞 TOF 献金ベスト10 FF 献金ベスト10	EMC 事業 ノンドロップ賞 出席率90%以上
	ファンド事業 BF 目標達成賞

そのとき あなたの歴史は動いた

“雨”が私の人生を大きく変えた？

大門 和彦

「こっちを見てください」。「では、いきますよ。はいチーズ」カシャ。今にも降り出しそうな天候の中、私は卒業写真の撮影のため平等院にいました。撮影終了と同時に大粒の雨が降り出した。「雨が降ってきたから部活は中止だな。このまま家に帰る！」っと帰宅。

暫くして突然電話が鳴った……「もしもし？」「お前、何で家におるんや！」監督からだ。監督？雨だったらそのまま家に帰っていいぞって。「そんな事どうでもええ、今直ぐ学校に來い！着替えてだぞ！」いつも冷静な監督の焦った声が気になり仕方なく学校へ戻る事に。しかし雨足は徐々に激しくなり本降りです。フツフツ小言を言いながら校舎の軒下へ行った。そこには緊張した監督の顔と見慣れない“おっさん”連中が4人。

その中の一人が「大門君、キャッチボールしてくれるか？」……「急になんなん？」アップもしてないし……「誰やこの人達？」……またフツフツ。半分不機嫌のまま仕方なく「キャッチボール～遠投へ」それも軒下で……。

その年の秋のドラフト会議、豪雨の中、校舎軒下の遠投が指名されるきっかけになったとは誰も信じないだろう。その時のスカウトは今年72歳。

“今も元気に、私と共に毎週末中学生チームを指導している。”

堀川高校2年生のマラソン大会

森 繁樹

私が、17才の頃。

毎年秋に行われる、堀川高校のマラソン大会に参加しました。鴨川を上がりまた下りてきて、距離は約15キロ程でした。10位まで入ると全校生徒の前で、校長先生よりメダルをもらって表彰されます。

長距離に少し自信のあった僕は、10位に入りメダルを狙ってました。陸上部の早いのが3人、野球部が3人、ハンドボール部が1人、テニス部が1人、ボート部が1人、我がサッカー部が2人と普通に走ると10位内に入れません。事前に練習を

して、当日は必死で何が何でも付いて行くぐらいでないとメダルを手にはすることはできない状況です。

いよいよ当日、マラソンがスタートしました。予想より少し良く、折り返し時点で10位当たりを走っていました。このままでメダルです。暫くすると後ろに誰かが付いています。我がサッカー部のキャプテンでした。運動神経抜群のキャプテンですが、長距離だけは絶対に負けたくはない。何度も、何度も、何度ももう無理、限界、死にそう、苦しかったことだけを覚えていて、終盤、鴨川を挟み向こう岸のゴールまで後、だいたい200mが見えた途端、身体が軽くなり苦しみもなくなりました。

必死で食らいついていたキャプテンを軽く引き離し、ラストスパート、更に前に走っていた3人を順次抜き去り、最終結果は6位でした。「人生最大の一発逆転でなく、一発追い抜き」でした。

これが、人生最大とは少し寂しいです。

職をかえたきっかけ

金田 英二

私が会社勤めだったとき、たまたま、若い頃から私のことをよく知っていた弁護士の方に会い、その方から、法学部を卒業していながら「なぜ、法律の道にいかなかったのか」と言われました。その方は何気ない気持ちで言ったのだと思いますが、そのとき私は、「今自分が出来ることは何か、ゼロに戻って考えよう」と思いました。このとき、私はすでに30歳でしたが、考えに考えた末、法曹になりたいと思い、司法試験にチャレンジする決意をしました。

受験時代は、家族、親族からいろいろな皆さんの協力を受けました。他方、迷惑をかけたこともありました。それだけに、絶対に合格するんだという強い意志を持って、休めと言われてもほとんど休まずに勉強しました（睡眠時間は十分とっていませんが）。

結果、約2年半の勉強で司法試験に最終合格することができました。

何気ないひとことが、言われた人の転機になることがあるのだと感じました。

リトセン夏の準備ワーク

YMCA サービス委員長 幡南 進

6月24日、次期事業の先頭を切って、ワークが行われました。今年グリーンチャペル周辺・駐車場辺りの草刈りが担当でした。引継例会翌日という事もあり参加者の体調を気遣いましたが、20名のメンバーが元気に参加して頂きました。同時に京都部の評議会も開催されたこともあり、駐車場に入りきれないぐらいのワイズメンの車が集まりました。

船木次期京都部部长よりご挨拶を頂き、藤尾YMCA主事からの注意事項とワークの説明がありスタートです。梅雨時にも拘らず、湿度も高くない快適な環境でしたが、参加者は昨日のお酒がすべて抜けきってしまう程の、大粒の汗をいっぱいかきながらの草刈りでした。

昼食には前日から泊まり込み?で作られたカレーライスが頂き大満足!! お腹いっぱい、もう終わりたい〜という一部の声を聞きながらも午後から開始。怪我もなく無事終了しました。参加頂きましたメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

参加者：石倉・石村・香山・神崎・菅原・瀬本・竹田・八木・柳・山口(雅)・山田(隆)・山田(英)・金原・内田・田中(升)・西川・西村・亀井・山口(恵)・幡南 計20名



HAPPY BIRTHDAY

メ	ン	神崎 清一	7月8日	亀井 久照	7月16日
		山口 恵	7月31日		
メ	ネット	内廣 嘉子	7月22日	柳 早知子	7月29日
コ	メット	田中 愛純	7月3日	幡南 玲奈	7月8日
		八木 萌寧	7月19日	山田 隆太	7月19日
		山口 龍樹	7月20日		

HAPPY ANNIVERSARY

八木 悠祐・未穂 ご夫妻 7月7日

第3回 次期役員会議事録

2012年6月26日(火) 19:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都 平安の間

第1回 2012年4月12日(木) 19:00~20:00 京都YMCA201号室
第2回 2012年5月24日(木) 19:00~21:30 京都YMCA201号室

〈西日本区報告〉・6月9日~10日 第15回西日本区大会 滋賀県長浜 参加者：19名(内メネット5名)

〈京都部報告〉・2012~2013年度第1回評議会(6/24) 2012年~2013年京都部事業計画案→承認 2012年~2013年京都部予算案→修正を加えたくて承認 第18回京都部会ホストクラブ承認→京都ウエストクラブ/EMC懇談会 7月27日(金) 19時~ メルパルク京都8F/メネット会長・連絡員会 7月7日(土) 14時~ 京都YMCA

〈YMCA報告〉・リトセン夏の準備ワーク(6/24) キャピタルクラブからは20名の参加を得て無事終了/サバエ開設ワーク(7/1・8) 今期はサバエワークも積極的に呼びかける。

〈三役報告〉・スケジュールの件 京都部部长公式訪問 7月17日(火) CATT合同例会 3月26日(火) 19時~ パルティール宇治 登録費8,000円 3月役員会 3月19日(火)に変更 3月三役会 3月16日(土) 引継例会 6月15日(土)/国際大会(8月2日~5日 ノルウェイ) 参加予定者3名

〈各事業委員会報告〉

- ・YMCA サービス委員会 6月24日リトセン夏の準備ワーク報告/3月10日のYMCA リーダー卒業祝会をYサアワー例会とする/リーダーを例会に各2名ずつ招待する
- ・地域奉仕・環境委員会 ふれあい広場 9月30日 近江八幡水郷めぐり/プラタブ・キャップ・インクカートリッジの収集
- ・ドライバー委員会 通常講師例会のうち1回をファンド例会に変更/特別講師例会を年1回に変更/予算330,000円、ニコニコ収益金270,000円に変更/8月第1例会(納涼例会) レストラン菊水 余興：ハワイアンの演奏、フラダンス/8月第2例会(通常例会) 講師：木下 通之先生 内容：「効果的な話し方」「より良い人間関

係の構築」/9月第2例会(通常例会) 講師：(株)ケイ・エル・エス 藤原良尚社長 内容：「技術実習生をカンボジアから迎えて」

- ・交流委員会 韓国ベゼルクラブとの交流 2013年8月に訪韓を希望しているので、2012~2013年度は交流を行わない。連絡を取り合い交流の在り方を検討/東京クラブの訪問に対する準備を整える/写真付きメンバー表をIBC・DBC時に交換する。/DBC予算250,000円 YEEP・STEP予算15,000円 合計265,000円
- ・ファンド委員会 ジャがいもファンドの販売を拡大し、収益予算を1,000,000円とする。/アイスコーヒーの販売を7月第1例会で行う。/年間のファンドスケジュールをたてて、毎月の収益目標予算に基づき事業を展開する。/ファンド例会を開催する TOF 例会のように食事内容等を若干節約し、差益をファンド収益とする。開催時期はドライバー委員会と調整予定。
- ・広報・プリテン委員会 年間スケジュール 増刊号：新年の抱負(1月号)、メタセコイヤ(4月号)、DBC(5月号)、30周年(2・3月号で検討)(金原次々期会長と相談)/例会・コラム・イベントの原稿依頼先の選定/山田Yサ主査コラムについて 毎月の近況報告。もしくは年4回の報告→山田Yサ主査と相談/撮影、校正等を委員で分担/30周年事業に向けた企画を検討
- ・EMC委員会 誕生日会詳細の決定 2ヶ月毎の開催を予定⇒対象者人数の関係で3ヶ月毎の開催も検討 結婚記念日も一緒に声掛けをし、メネットの参加も呼び掛けを検討/メンバーゲスト候補者カードを配布→メンバーそれぞれに候補者を記入して頂き、メンバーゲスト候補者目標40名(メンバー1名につき1名の計算)候補者リストの作成
- ・メネット会 事業計画案について説明

〈審議事項〉・年間スケジュール案承認の件⇒承認/予算案承認の件⇒今期繰越金などを合算することを前提に承認/各事業委員会事業計画書承認の件⇒承認/次々期30周年記念事業実行委員会立ち上げと、実行委員長選出について、金原次々期会長より趣旨説明 (ア) 実行委員会の立ち上げ⇒承認 (イ) 実行委員長の選任を山口次期会長及び金原次々期会長に一任⇒承認

次回三役会 7月19日(木) 19:00~ 場所未定

次回役員会 7月24日(火) 19:00~ ウェスティン都ホテル京都 竹の間

第12回 役員会議事録

2012年6月26日(火) 19:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都 平安の間

1. 西日本区・京都部報告
 - ・京都部評議会 6月24日(日) 次期より部費値上げ400円→承認
2. YMCA報告
3. 三役報告
 - ・神崎総主事の西日本区大会費用支援→25,000円の支援 承認
4. 各委員会報告及び半期報告
5. 審議事項
 - ・下期事業報告→承認(訂正箇所訂正後承認)
 - ・決算報告→承認(訂正箇所訂正後承認)
6. その他
 - ・メーキャップは、各個人にて申請を行う事を提案(次期に申し送り)

8月予定抄

- 8月2日(木)~5日(日) 国際大会(ノルウェイ)
- 8月3日(金) 京都部役員会
- 8月4日(土) 第一例会(納涼例会) レストラン菊水
- 8月21日(火) 第二例会
- 8月24日(金) 京都部CS事業懇談会
- 8月25日(土) びわこ部部会
- 8月26日(日) 中部部会

編集後記

今期、広報・プリテン委員長を務めます長谷川です。委員長の責任の大きさに押し潰されそうですが、次の引継例会で美味しくビールを頂けるよう、精一杯やりぬきます。皆様、ご協力お願い致します。 広報・プリテン委員長 長谷川幸昌

